

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】(中学校用)

都道府県名	宮崎県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	宮崎県日之影町立日之影中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	4	11
生徒数	28	39	36	1	104	

研究の概要

1. 研究主題

基礎・基本の理解と定着を図り、主体的に生きる生徒の育成  
～ 個を生かすきめ細かな指導の工夫を通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

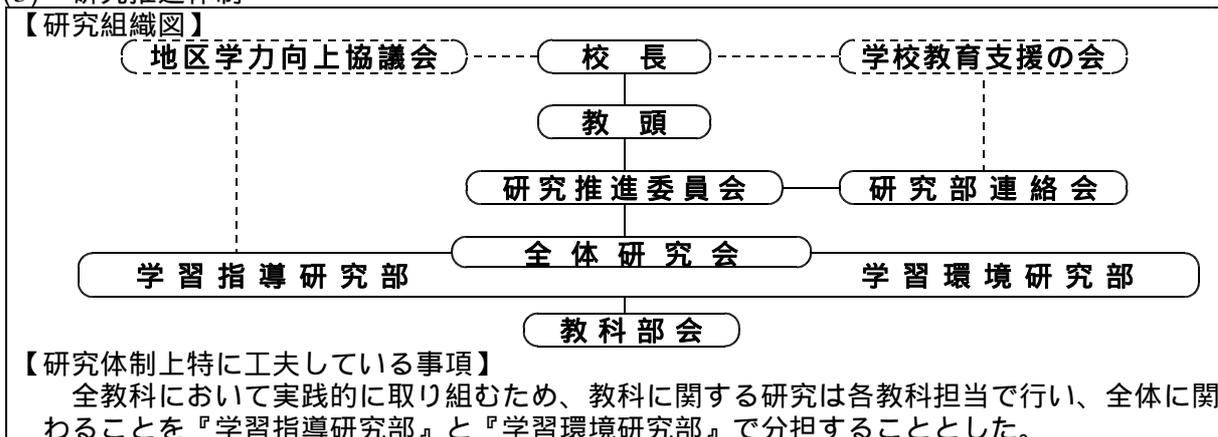
全学年・英語(少人数指導)  
理解や習熟の差が生じやすい教科であること。  
学力向上に関わる加配教員がいること。  
昨年度から校内研究を行い研究実績があること。  
全学年・数学(TT指導)  
理解や習熟の差が生じやすい教科であること。  
フロンティアティーチャーの加配を活用するため。

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年 度	1 研究のテーマ 基礎・基本の理解と定着を図るきめ細かな指導の工夫と生徒の主体的な学習力の育成
	2 研究の見通し 平成15年度 きめ細かな指導方法の工夫・改善と生徒の主体的な学習力の育成 平成16年度 評価を生かした学習力の育成ときめ細かな指導方法の工夫・改善
	3 研究の内容・方法 少人数指導の研究と実践 TT指導による指導方法の研究と実践 きめ細かな授業のための教材の工夫 生徒の主体的な学習を促す教材の工夫 家庭学習の改善による学力定着の工夫

平成 16 年 度	1 研究テーマ 基礎・基本の理解と定着を図るきめ細かな指導の工夫と生徒の主体的な学習力の育成
	2 研究の見通し 平成16年度 評価を生かした学習力の育成ときめ細かな指導方法の工夫・改善
	3 研究の内容・方法 生徒の到達度を把握し、指導に生かす評価の研究 生徒が理解度を把握し、学習に生かす評価の研究 きめ細かな指導のための教材の質的・量的拡大とその活用の工夫・改善 学力向上の考え方や方法の検証による一層の指導の改善と徹底

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

#### 1. 研究の成果

研究のねらいから、

1 学級を2クラスに分け少人数指導することによって、きめ細かな指導ができ、生徒の興味・関心が高まり理解と定着が図られた。

TT指導による指導方法の研究と実践によって、一斉授業や演習時間に役割分担ができ、効果的に指導をすることができた。

きめ細かな授業のための教材を作成することによって、生徒が興味・関心を持ち、授業に集中できるようになった。

習熟度別教材を作成し、生徒一人一人にあった教材を作成することにより、生徒の主体的な学習を促せるようになった。

学習マニュアル等を作成して活用したり、校長室通信等を利用して、家庭学習の改善による学力定着の工夫を行った。

オープンスクールの実施によって、研究の目的の一つでもある『きめ細かな指導』という観点から保護者の方の理解を得ることができた。

『地区学力向上協議会』実施により、小・中学校の連携を図り易い環境をつくるれた。

#### 2. 今後の課題

家庭学習の見届け

教育課程内で行われる学習指導においては、研究と授業を行ってきて、学習内容の『理解』についてはある程度の効果を収めつつあるが、『定着』という点では、一層の指導方法の改善・徹底や家庭の協力など、今後さらなる研究が必要である。

学校教育支援の会等の設置

学校教育について理解を高めるとともに、校区内小学校など、保護者・地域ぐるみで学力向上に取り組む環境をつくる。

#### 学力把握のための学校としての取組

生徒や保護者へのアンケートによる学習の実態調査（学級ごとに実施）

TT指導や少人数指導等を導入することで、生徒や保護者が、どのように意識が変化しているかを知るため、学期ごとにアンケートで調査し、研究の効果について把握をし、今後の研究に生かす。

各種テスト等の結果の分析(学期ごとに実施)

教師が学習達成目標を設定し授業を行う。小テスト・単元末テストから定期テストへの関連を図りながら、生徒の理解の程度を把握するようにし、テスト結果を分析して、学力の定着の確認や授業への対策を立てるようにしている。

#### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

オープンスクールを開催し、保護者が自由に授業を参観したり、学力向上に関する取り組みのコーナーを設けたり、研究に関するリーフレットを作成し、研究の取り組みや指導方法の理解を図った。

校区内小学校との共同研究組織を作り、小・中学校連携の図り方を研究して、小学校・中学校が、一貫した家庭学習の指導に取り組めるよう検討を行う。

ホームページやフロンティア通信等を活用しての啓発活動を推進する。

## 【アンケート結果】

---

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】	1 5 年度からの新規校	1 4 年度からの継続校		
【学校規模】	3 学級以下 7 ~ 9 学級 1 3 ~ 1 5 学級	4 ~ 6 学級 1 0 ~ 1 2 学級 1 6 学級以上		
【指導体制】	少人数指導 その他	T . T による指導		
【研究教科】	国語 外国語 保健・体育	社会 音楽 その他	数学 美術	理科 技術・家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	